

2017年版のATテキスト修正箇所（2017.5.11）

○第2巻 運動器の解剖と機能

- ・P111 左側 下から4行目

（訂正前）したがって、足底が体の中心（脛骨側）に向かう動きは回内、足底が体の外側（腓骨側）に向かう動きは回内と呼ばれる。

（訂正後）したがって、足底が体の中心（脛骨側）に向かう動きは回外、足底が体の外側（腓骨側）に向かう動きは回内と呼ばれる。

- ・P113 右側 下から3行目

（訂正前）機能：外がえし

（訂正後）機能：外がえしと底屈

○第3巻 スポーツ外傷・障害の基礎知識

- ・P20 左側 上から5行目

（訂正前）腰椎椎間板ヘルニアの好発年齢が30～40歳であることは、

（訂正後）腰椎椎間板ヘルニアの好発年齢が30歳代～40歳代であることは、

- ・P20 右側 下から3行目

（訂正前）前述のように、30歳代から40歳代が好発年齢であるが、

（訂正後）前述のように、30歳代～40歳代が好発年齢であるが、

- ・P153 左側 上から1行目

（訂正前）シヨパール関節部分の疼痛と腫脹があり、

（訂正後）リスフラン関節部分の疼痛と腫脹があり、

○第4巻 健康管理とスポーツ医学

- ・目次（ix）の修正

※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ（2017年度版）にてご確認ください。

- ・P57 左側 「d. 狂犬病」の下から2行目

（訂正前）暴露後接種

（訂正後）曝露後接種

- ・P61 左側 下から6行目 「d. 狂犬病」の下から2行目

（訂正前）うつ状態や分裂病に類似した

（訂正後）うつ状態や統合失調症に類似した

- ・ P134 図IV-G-2 ドーピング検査手順の出典元
(訂正前) (財)アンチドーピング機構
(訂正後) (公財)アンチドーピング機構

○第5巻 検査・測定と評価

- ・ P68 「d. 自覚的運動強度 RPE (rate of perceived exertion)」の改稿
※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ(2017年度版)にてご確認ください。

○第7巻 アスレティックリハビリテーション

- ・ P295 右側 上から5行目
(訂正前) コーディネーション機能
(訂正後) コーディネーション能力

○第8巻 救急処置

- ・ 目次(vi~vii)の修正
※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ(2017年度版)にてご確認ください。
- ・ P18 右側 下から4行目
(訂正前) また、足関節周囲は、曲線や外踝など
(訂正後) また、足関節周囲は、曲線や外果など
- ・ P67~82 「1 心肺蘇生法」の改稿
※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ(2017年度版)にてご確認ください。
- ・ P95 右側 下から4行目
(訂正前) [症例2] 頸部の重傷捻挫のケース
(訂正後) [症例2] 頸部の重症捻挫のケース
- ・ P96 右側 下から1行目
(訂正前) 重傷の頸椎捻挫であった
(訂正後) 重症の頸椎捻挫であった
- ・ P145~149 和文索引の修正
※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ(2017年度版)にてご確認ください。